

岩木川改修100周年記念事業実行委員会 名簿

平成30年4月1日現在

NO	職 名		氏 名
1	五所川原市	市長	<small>ヒラヤマ</small> 平山 <small>マサトシ</small> 誠敏
2	弘前市	市長	<small>サクラダ</small> 櫻田 <small>ヒロシ</small> 宏
3	黒石市	市長	<small>タカヒ</small> 高樋 <small>ケン</small> 憲
4	平川市	市長	<small>ナガオ</small> 長尾 <small>タダユキ</small> 忠行
5	中泊町	町長	<small>ハマダテ</small> 濱館 <small>トヨミツ</small> 豊光
6	西目屋村	村長	<small>セキ</small> 関 <small>カズノリ</small> 和典
7	つがる市	市長	<small>フクシマ</small> 福島 <small>ヒロヨシ</small> 弘芳
8	鶴田町	町長	<small>アイカワ</small> 相川 <small>マサミツ</small> 正光
9	青森市	市長	<small>オノデラ</small> 小野寺 <small>アキヒロ</small> 晃彦
10	板柳町	町長	<small>ナリタ</small> 成田 <small>マコト</small> 誠
11	藤崎町	町長	<small>ヒラタ</small> 平田 <small>ヒロユキ</small> 博幸
12	大鰐町	町長	<small>ヤマダ</small> 山田 <small>トシノブ</small> 年伸
13	鱒ヶ沢町	町長	<small>ヒラタ</small> 平田 <small>マホル</small> 衛
14	深浦町	町長	<small>ヨシタ</small> 吉田 <small>ミツル</small> 満
15	田舎館村	村長	<small>スズキ</small> 鈴木 <small>コウユウ</small> 孝雄
16	青森県県土整備部	部長	<small>フクシ</small> 福士 <small>ユウジ</small> 祐治
17	(一社)東北地域づくり協会	専務理事	<small>ミウラ</small> 三浦 <small>キヨシ</small> 清志
18	国土交通省東北地方整備局 青森河川国道事務所	所長	<small>サコン</small> 佐近 <small>ヒロユキ</small> 裕之
19	国土交通省東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所	所長	<small>クリタ</small> 栗田 <small>ノブヒロ</small> 信博

つなげよう!
まもろう! あおもりのかわとみち

平成30年4月26日(木) 第510号



青森河川国道ニュース

ご意見は
こちらまでお問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38
地域づくり相談室 TEL017-734-4529 FAX017-722-2577ヨシ原環境の
改善に向けて

地域伝統の復活 火入れ

2018. 4. 21
岩木川下流ヨシ原の火入れ検討会

4月21日(土) 岩木川下流の地域に伝わってきたヨシ原の火入れ
4.2haを100名の参加により中泊町若宮地区で行いました。

岩木川下流部には、広大なヨシ原(約400ha)があり、貴重な動
植物の生息・繁殖地となっています。

しかし、地域が伝統的に実施してきたヨシの刈り取りや火入れが
行われなくなり、ヤナギなどの侵入により、環境劣化が進行しており、
環境改善と保持が喫緊の課題となっていました。

今回の火入れは、岩木川が改修100周年となることを契機に、地
域の団体や行政機関からなる「岩木川下流ヨシ原の火入れ検討会」
が、環境の保全のため、ヨシ原の火入れの復活に向け実験を行った
ものです。

この火入れは、地域の伝統行事(春の風物詩)の復活としても期
待されております。



ホームページを開設中です!

当ホームページでは100周年記念事業に関連する
「各種イベント情報(パネル展)」や「岩木川の改修の
歴史」などの情報が、閲覧できます。

(ホームページURL)

<http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/river/topics/iwaki100th/index.html>

平成30年
100周年
岩木川改修事業

ホームページバナー

QRコード



日本の貴重種を育む 岩木川中泊町の ヨシ原を みんなで守ろう

岩木川右岸下流部の中泊町には、約 178 ha に及ぶ『ヨシ原』が現存しています。十三湖へ注ぐ河口部から、約7kmに亘って群生し、中ほどを横架する津軽大橋から南北に望む、広大なヨシの草原の眺めは、実に壮観です。



そのヨシ原では、日本での絶滅危惧種に指定されるチュウヒが舞い、オオセッカがさえずり、根元にも同様に昆虫などが生息・繁殖する、生態系の宝庫として位置づけられています。

こうした見事な『景観』と、日本有数の豊かな『環境』とされる“地域の宝”を守るため、私たち「火入れ検討会」と一緒に“火入れ”を行い、ヨシを元気にしてあげましょう。 **“火入れ”の詳細は裏面です。**

【主催】岩木川下流 ヨシ原の火入れ検討会

実施主体：武田堤防保護組合、ヨシ原を営む団体（個人）

＜問い合わせ先＞

□国土交通省 青森河川国道事務所 五所川原出張所 TEL 0173-34-2738

□中泊町 環境整備課 TEL 0173-57-2111

□五所川原地区消防事務組合 中里消防署

＜その他検討会構成機関＞

□岩木川改修100周年実行委員会、NPO法人 岩木川環境共生ネットワーク協議会

【アドバイザー】

□弘前大学 農学生命科学部 東教授、河川環境保全モニター 竹内

ヨシ原に“火入れ”は、なぜ必要なの？

ヨシは、火入れや刈り払いといった人為的攪拌作用で、世代交代が促進されて元気な新芽が育ちます。同時に、火入れ等によりイタチハギなどの外来種が駆除されます。

しかし、ヨシの需要が減って、この20年程度火入れがされなくなり、その間に枯れたヨシが堆積して根元を塞ぎ、窒息状態のようになったヨシ原が、いま元気を失っています。

そこで、中泊町で有志の自治会が組織する『武田堤防保護組合』の皆さんが、ヨシ原を元気にしようと立ち上がりました。中泊町役場や中里消防署などの協力を得て、火入れの影響や安全性などを確認するため、下記により火入れの試験実施を行なうこととしました。

— お知らせ —

【火入れ試験実施の予定】

日時：平成30年4月21日(土) 10時
(中止の場合は翌日22日へ、更に中止

の場合は、翌々日23日の10時～)

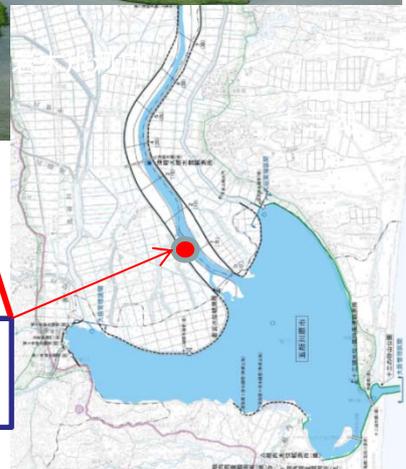
場所：中泊町若宮地区(右図のとおり)

駐車場は川裏側に15台程度有り

※ 当日は誘導員の指示に従ってください。

見学だけでも結構ですが、**実施のお手伝い大歓迎**です。申し込みは、4月17日までに下記へ連絡してください。

中泊町役場 環境整備課 0173-57-2111



実施場所：岩木川 右岸
中泊町若宮地区の河川敷

< 発行元：岩木川下流ヨシ原の火入れ検討会 >